



**株式会社浅沼組**

2019年3月期 決算説明会

2019年5月17日

# イベント概要

---

[企業名]	株式会社浅沼組
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2019年3月期 決算説明会
[決算期]	2018年度 通期
[日程]	2019年5月17日
[ページ数]	23
[時間]	09:00 - 09:31 (合計: 31分、登壇: 31分、質疑応答: 0分)
[開催場所]	103-0026 東京都中央区日本橋兜町3-3 兜町平和ビル3階 第3セミナールーム (日本証券アナリスト協会主催)
[会場面積]	
[出席人数]	
[登壇者]	4名 代表取締役社長執行役員 浅沼 誠 (以下、浅沼) 代表取締役専務執行役員社長室長 山腰 守夫 (以下、山腰) 執行役員技術研究所所長 石原 誠一郎 (以下、石原) コーポレートコミュニケーション部部长 八木 良道 (以下、八木)

---

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 登壇

---

司会：それでは定刻となりましたので、ただ今から株式会社浅沼組様の 2019 年 3 月期の決算説明会を開催いたします。

最初に会社からお迎えしている 4 名の方をご紹介します。代表取締役社長執行役員、浅沼誠様。

浅沼：浅沼です。よろしくお願いします。

司会：代表取締役専務執行役員、社長室長、山腰守夫様。

山腰：山腰です。よろしくお願いします。

司会：執行役員技術研究所所長、石原誠一郎様。

石原：石原でございます。

司会：コーポレートコミュニケーション部部长、八木良道様。

八木：八木です。よろしくお願いします。

司会：それでは本日は浅沼社長からご説明いただくことになっておりますが、ご説明が終わりましたら質疑応答の時間を設けていただきます。

それでは社長様、お願いいたします。

浅沼：おはようございます。ただ今ご紹介いただきました、社長の浅沼誠です。本日は 2019 年 3 月期、弊社の決算説明会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。それでは私のほうからご説明させていただきます。よろしくお願いします。

---

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 建設業

2018年度は、設備投資等が緩やかに増加し、建設投資は堅調に推移をしました。2019年度は、引き続き底堅く推移すると考えられますが、貿易摩擦に伴う中国経済の減速による日本企業の設備投資の先送りや抑制など下押し要因には注意が必要です。

### 建設投資の推移



4

まずお手元の資料、2019年3月期決算説明会、資料4ページのほうをご覧ください。まず初めに、当社を取り巻く環境についてご説明いたします。

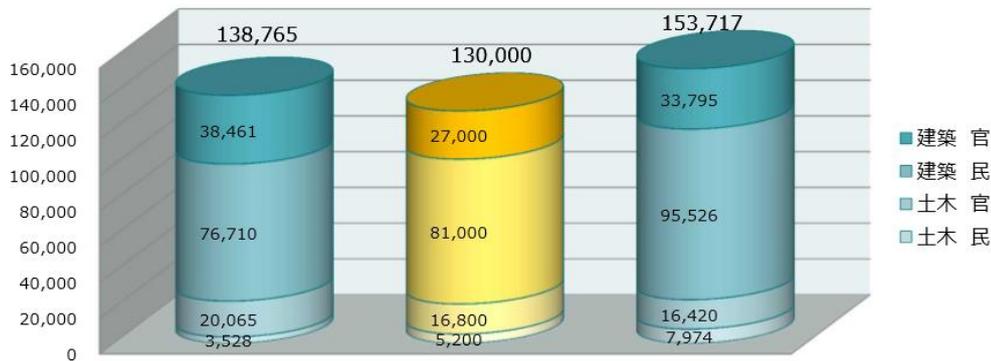
建設業におきましては、公共建設投資は底堅く推移しており、民間建設投資については住宅建設はおおむね横ばいでの推移ではありますが、設備投資においてはおおむね堅調に推移してきました。しかしながら貿易摩擦に伴う中国経済の減速による日本企業の設備投資の先送りや抑制など、下押し要因には留意する必要があり、また慢性的な技能労働者不足や建設資材価格の上昇については、今後も十分注意する必要があります。

下のグラフは直近6年の建設投資の推移です。公共投資は堅調に推移し、民間投資の回復により増加傾向であり、2019年度の建設投資についても公共投資、民間投資ともに堅調に推移すると見られ、前年比2.1%増の57.9兆円と予測されています。

このような状況の下、当社は5月10日に2019年3月期の決算発表をいたしました。次に山腰から決算概要と、2018年4月に発表しました中期3カ年計画の進捗状況を説明させていただきます。

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



		2018/3実績	2019/3計画	2019/3実績	前期比	計画比
建築	官庁	38,461	27,000	33,795	△4,665	6,795
	民間	76,710	81,000	95,526	18,815	14,526
土木	官庁	20,065	16,800	16,420	△3,644	△380
	民間	3,528	5,200	7,974	4,445	2,774
計		138,765	130,000	153,717	14,951	23,717

(単位: 百万円)

5

山腰：それでは私のほうから決算概要についてご説明いたします。

まず 2019 年 3 月期の受注について説明します。下の表を見ていただきますと、左端が 2018 年 3 月期実績、橙色で塗っているのが 2019 年 3 月期の計画。その右が 2019 年 3 月期の実績。そして前期比、計画比を掲載しております。

2019 年 3 月期、真ん中辺りですが実績を見ていただきまして、一番下に計がありますが、合計で 1,537 億円の受注をいたしました。主として建築の民間が増えたということではありますが、計の前期比、計画比を見ていただきますと、前期比では 149 億円の増加、計画比では 237 億円オーバーしたということでもあります。

もともと当社は当社の人員で施工可能な案件のみを受注する方針で臨んでおりますが、現在の社員数は 1,270 名程度でございます。その人数で施工可能な 1,300 億円程度の受注が妥当だとは考えておりますが、2019 年 3 月期は一人当たりの施工高が高い物流倉庫ですとか工場の受注が、表にはございませんけれど 280 億円と、前期比で 120 億円増えたことや、今年 10 月の消費税増税に伴う、これは着工時期が先の案件が多くございましたけれど、その駆け込みによる受注があったということで、前期比、計画比で増加したということでもあります。

なお受注時の粗利益率は 9%程度ございまして、前期比より 1 ポイントほど改善しておりますので、良質な受注が引き続きできていると会社としては考えております。

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

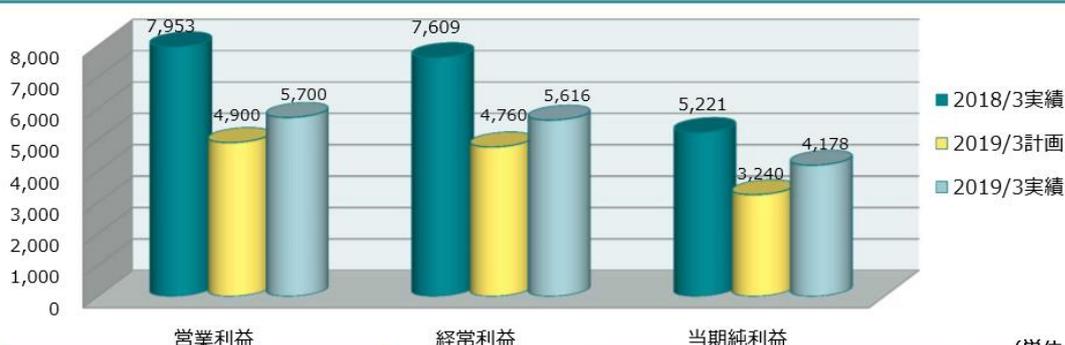
(単位：億円)

建士	発注者名	工事名称	請負金
建築	東京都	警視庁志村警察署庁舎改築工事	47.0 (72.3)
	東ソー物流株式会社	東ソー物流株式会社 物流センター新築工事	41.5
	シモハナ物流株式会社	シモハナ物流株式会社岩槻センター新築工事	45.8
	大阪府和泉市	和泉市新庁舎整備事業	40.9 (58.4)
	須河車体株式会社	須河車体株式会社 新工場新築工事	36.7
	大阪府吹田市	吹田市文化会館改修工事	24.4 (34.9)
	P F I 和光市広沢株式会社	和光市広沢複合施設整備・運営事業 建設工事	24.0
	独立行政法人都市再生機構	益城町広安馬水地区災害公営住宅建設工事	20.5
土木	大阪市水道局	楠葉取水場取水施設耐震改良工事	19.4 (32.4)
	環境省福島地方環境事務所	中間貯蔵（双葉3工区）土壌貯蔵施設工事	13.3 (66.7)

( ) 内JV総額

6

ここに 2019 年 3 月期の主な受注工事を掲載しております。表の上から二つ目ですか、東ソー物流株式会社様やその下のシモハナ物流株式会社様の物流倉庫、あるいはその下の下に、須河車体株式会社様の工場等の受注があったということでございます。



	2018/3 実績	2019/3 計画	2019/3 実績	前期比	計画比
売上高	143,434	129,500	135,713	△7,721	6,213
営業利益 (利益率)	7,953 5.5%	4,900 3.8%	5,700 4.2%	△2,252 △1.3P	800 0.4P
経常利益 (利益率)	7,609 5.3%	4,760 3.7%	5,616 4.1%	△1,992 △1.2P	856 0.4P
親会社株主に帰属する 当期純利益 (利益率)	5,221 3.6%	3,240 2.5%	4,178 3.1%	△1,042 △0.5P	938 0.6P

7

2019年3月期の連結損益計算書についてご説明いたします。

下の表を見ていただきますと、左端が2018年3月期実績、橙色のところは2019年3月期計画、その右が2019年3月期の実績と、その右が前期比、その右が計画比ということでございますが、真ん中辺りの2019年3月期のところを見ていただきますと、前期比では減収減益となりましたけれど、右端の計画比のところにありますように、計画を達成することはできました。

2018年3月期は100億近い、当社としては非常に大型の物流倉庫ですとか、東北の復興関連工事が完成しましたけれど、2019年3月期にはそうした工事がなかったということで減収減益となりました。

そして2019年3月期は想定以上に追加工事が決定したことや、工事の進捗が進んだということ。それから自己株式取得10億に充てた株式売却の売却益が5億円発生したこと等もありまして、計画を達成することができたということでありまして。

## 2019年3月期 主な完成工事



		( ) 内JV総額	(単位: 億円)
建士	発注者名	工事名称	完成高
建築	G a n g e s 特定目的会社	大阪ハイタワー温泉施設改修工事	35.3
	シモハケ物流株式会社	シモハケ物流株式会社 高槻第2センター新築工事	26.8
	独立行政法人都市再生機構	彩都の丘学園校舎増築その他工事	18.1
	東急不動産株式会社・三菱地所レジデンス株式会社	港区六本木五丁目計画における本体工事	18.6
	医療法人聖和錦秀会	阪和いずみ病院移転建替え工事	18.1 (95.2)
	大阪府泉南市	泉南中学校改築工事	16.2 (23.2)
	西日本高速道路株式会社	阪和自動車道 和歌山南スマートインターチェンジ工事	18.0
土木	大阪府枚方市上下水道局	公共下水道第68工区サダ雨水貯留管整備工事	12.9



(東急六本木5丁目マンション)



(泉南中学校)

主な完成工事を掲載いたしました。

表にはございませんけれど、請負高で 30 億円以上の当社としての大型工事でございますが、これは 295 億円ございましたけれど、前期比では 58 億円減ったということで、2018 年 3 月期は先ほど申し上げましたけれど、大型工事がありましたけれど、2019 年 3 月期は完成としては大型工事が少なかったということでありませう。

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasiasia.com



# 連結貸借対照表



(単位：百万円)

資産の部	2018/3	2019/3	前期比
流動資産	87,250	84,924	△2,325
固定資産	16,118	17,075	956
有形固定資産	4,788	5,333	545
無形固定資産	471	886	415
投資その他の資産	10,858	10,855	△3
資産合計	103,369	102,000	△1,368
負債の部	2018/3	2019/3	前期比
流動負債	55,670	51,147	△4,523
固定負債	12,474	13,386	911
負債合計	68,145	64,533	△3,611
純資産の部	2018/3	2019/3	前期比
純資産合計	35,223	37,466	2,242

9

2019年3月期の連結貸借対照表についてご説明いたします。

表の真ん中辺りに2018年3月期の実績、その右が2019年3月期の実績、右端が前期比ということですが、前期比につきましては流動資産で23億ほど減っておりますが、これは預金が164億円減ったということ。あるいは一方、売掛債権が130億円ほど増えたということで、23億円減っております。

それから固定資産では9億ほど増えておりますが、これは技術研究所の増築ですとか、システムの拡充等によって増えたということでもあります。そうしたこともありまして、真ん中やや上の資産合計では14億円ほど減ったということでもあります。

それから流動負債では45億円ほど減っておりますが、買掛債務で10億円減った、それから短期借入金で26億円減ったということで、45億円ほど減ったということでもあります。

それから固定負債では短期借入からシフトした長期借入が9億増えまして、そのために固定負債が9億増えたということでもあります。そうしたことで負債合計は36億円減りました。

それから純資産は22億円ほど増えておりますが、2019年3月期の最終利益は42億円ございましたけれど、2018年3月期の配当13億円、あるいは自己株式取得が10億円ありましたので、それらもあって22億円増えたということでもあります。

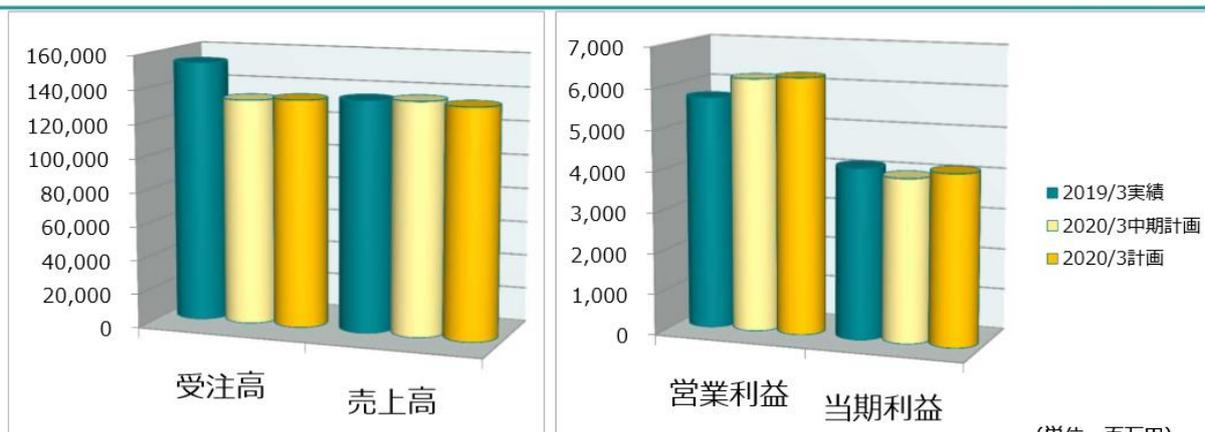
先ほども少し申し上げましたけれど、2019年3月末の預金でございますが、立替資金が増えたということで、前期比で見ますと164億円減少して、残高では235億円になりましたけれど、当社の業容から見て、あるいは年間の金繰りを勘案して、残高としては適切な水準であると会社としては考えております。

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



# 2020年3月期 業績予想 ①



	2019/3実績	2020/3中期計画	2020/3計画	前期比	中計計画比
受注高	153,717	133,000	134,300	△19,417	1,300
売上高	135,713	136,600	134,700	△1,013	△1,900
営業利益	5,700	6,200	6,270	569	70
親会社株主に帰属する当期純利益	4,178	4,000	4,180	1	180

10

2020年3月期の業績予想についてご説明いたします。

下の表をご覧になっていただきまして、表は左から2019年3月期実績、その右が2020年3月期中期計画、その右が2020年3月期計画、あと前期比と中計比ということで掲載をしております。

一番上の受注について申し上げますと、受注は先ほども申し上げましたけれど、2019年3月期の消費税増税に伴う駆け込み増加の反動もあって、2020年3月期計画では前期比で194億円減少する計画ですが、中計比では買収したシンガポールの子会社の受注もありまして、13億円増加する計画にしております。

それから売上高は、これも先ほど申し上げましたけれど、2019年3月期に想定以上に工事が進捗したこともございまして、前期比では10億円減少して、中計比では19億円ほど減少する計画にしております。

ただ営業利益は手持工事の状況から見まして、前期比で5億円増加しまして、ほぼ中計どおりの数値になるということでありまして。

それから当期利益は、これも先ほど申し上げましたけれど、2019年3月期には所有株式10億円を売却し、その売却益が5億円ございましたけれど、これが2020年3月期はございませんので。前期比では横ばいとなって、ほぼ中計どおりとなる見込みであります。

この計画は現在の受注案件の積み上げ状況ですとか、手持工事の状況等から見て、十分達成可能と考えております。

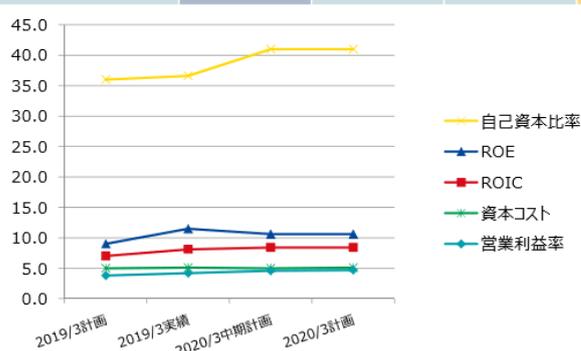
## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasiasia.com



(単位：百万円)

	2019/3 計画	2019/3 実績	計画比	2020/3 中期計画	2020/3 計画	前期比	中計計画比
営業利益率	3.8%	4.2%	0.4P	4.6%	4.7%	0.5P	0.1P
投下資本利益率 (ROIC)	7.0%	8.1%	1.1P	8.4%	8.4%	0.3P	—
自己資本利益率 (ROE)	9.0%	11.5%	2.5P	10.6%	10.6%	△0.9P	—
自己資本比率	36.0%	36.6%	0.6P	41.0%	41.0%	4.4P	—
資本コスト (WACC)	5.0%	5.1%	0.1P	5.0%	5.1%	—	0.1P



	2019/3期
支払利息(百万円)	189
有利子負債(百万円)	11,694
負債コスト	1.62%
10年国債利回り	▲ 0.082%
β値	1.058
市場期待利回り	7.00%
株主資本コスト	7.41%
時価総額(百万円)*	19,833
税率	30.4%
資本コスト (WACC: 加重平均資本コスト)	5.1%

\* 2019/3末時点  
除く自己株

11

ここでは指標の計画についてご説明したいと思います。

上の表を見ていただきますと、営業利益率以下の指標を掲載しておりますが、左から 2019 年 3 月期計画、その右が 2019 年 3 月期実績、計画比。それから黄色く塗っているのが 2020 年 3 月の中計、その右が今回の計画。前期比、中計比となっております。

営業利益率、それから ROIC、ROE につきましては表のとおり、2019 年 3 月期は計画を全て上回ることができました。そして 2020 年 3 月期についてはほぼ中期計画どおりとしているということでもあります。

それからその下に、やや小さくて恐縮でございますが、資本コストについての我が社の算出方法を掲載しております。

上から三つ目が負債コストで 1.62%。それからその四つ下でしょうか、市場期待利回りを 7%として、株主資本コストが 7.41%で。その下に時価総額とありますけど 198 億 3,300 万は、この 3 月末時点での自社株を除く時価総額でございますけれど、これをもとに資本コストを算出し、5.1%と見ております。

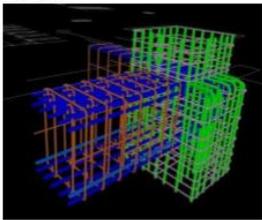
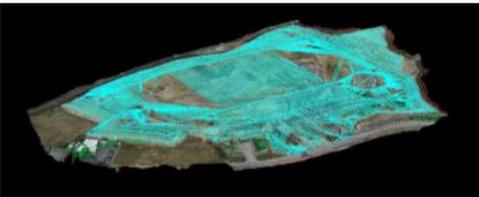
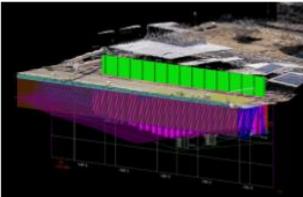
少し最近、株が上がっておりますので、現状の株価での資本コストは 5.1%をやや上回っております、5.6%程度に上がっております。

こういった指標はいろんな経営に活かしていきたいと思っておりますし、我が社が算出しているこういったコストが妥当かどうかについても今後、株主の皆様方といろいろお話をしながら考えていきたいと思っております。

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 建設事業における収益力・競争力のさらなる強化

<p>ICT活用による生産性向上</p>	<p>○ BIM・CIM試行開始、設計施工案件への積極活用</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>BIM マンションエントランス</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>鉄筋 配筋図</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>CIM 測量結果</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>鋼管杭の長さの可視化</p> </div> </div>
<p>リニューアル強化</p>	<p>○リニューアルブランディング計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の変化を日々感じる人々に優しい建物へ</li> <li>・太陽光・熱、風、マテリアルの建物への取り込み</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>モデル案件にて施工し、 営業推進</p> </div> </div>

中期3カ年計画の進捗状況を掲載しております。この中期3カ年計画は2019年3月期から始まっておりますが、表の上のほうにありますICTの活用につきましては、写真にありますが平面を三次元化するBIMあるいはCIMというシステムを積極的に導入してありまして、業務の効率化を進めておるといことであります。

それからその下のリニューアルにつきましては、当社独自の環境に配慮したリニューアルブランドを来年4月には立ち上げようと思っております。現在、そのためのモデル案件の施工の準備をしておるところであります。

## 新技術・新事業への挑戦

### 新技術・工法への積極的な取り組み推進

#### ○動線解析システムの実用化 (Ai-MAP SYSTEM)

国土交通省が公募した「建設現場の生産性を向上する革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」に採択され、作業所での活用推進。



ヘルメットロガー (Ai-LOGGER)



インフラ通信システム (Ai-TEC)

#### ○特殊積層繊維シートの実用化

阪神高速道路㈱・関ケー・エフ・シー 共同開発

JICA（国際協力機構）SDGsビジネス支援事業の案件化調査提案に採択され、タイ王国における高速道路等のインフラ補修・補強事業の工事受注を目指す。

#### ○移動式パッチャープラントの導入推進

阪神高速技術㈱・陽光物産㈱・光洋機械産業㈱ 共同開発

少量コンクリートが必要な道路構造物等の小規模維持補修工事業での活用及び事業化推進。



中期3カ年計画の進捗の続きでございますけれども、その表にありますのは新しい技術と工法ということでありますが、三つの技術を掲載しております。

一番上の技術につきましては作業所の人員の動向を解析いたしまして、作業所の生産性向上を図るという動線解析システムという技術でございます。この技術は国交省の公募に採択されまして、評価されたわけですが、今、当社の作業所での実用化を進めておるところであります。

それから真ん中の技術につきましては、高速道路等の補修作業の効率化に役立つ特殊な繊維シートを使う技術でございます。この技術も JICA の公募に採択されまして。現在、タイでの実用化に向け、準備をしておるところでございます。

それからその下、一番下の技術につきましては、道路工事の小規模補修作業の効率化に役立つ、移動式プラントでございます。この技術につきましては当社の作業所での実用化ですとか、あるいは道路会社さんへの販売に向け、今準備をしておるところであります。

## 持続的成長に資する経営基盤の確立

優秀な人材の確保・育成 および活躍できる環境の整備	○職務給の導入 ・新人事給与制度導入（2018年4月より）
	○ボランティア休暇の導入(2019年4月より)
	○フレックスタイムの導入（2019年4月より、リニューアル担当者対象）
	○週休2日に向けた取組み ・2020年3月までに官庁工事において4週6閉所、民間工事において4週5閉所を実現
コーポレート・ガバナンスの さらなる強化	○社外取締役の増員 ・女性の社外取締役を増員予定（指名・報酬委員会の委員に任命予定） （2019年6月開催株主総会后 取締役総数に占める社外取締役の比率は <b>総会前 25.0 % → 総会后 37.5 %</b> ）
	○指名・報酬委員会の適切な運営 ・代表取締役の選任解任基準の明確化 ・開催日数の増加（2018年度 7回） （社外取締役比率 <b>総会前 50.0% → 総会后 60.0%</b> ）
	○IRの強化 ・株主総会における議決権電子行使システム導入 ・英文の開示情報を充実

14

同じく中期3カ年計画の進捗状況でございます。表の上のほうにございます人事関係につきましては、2018年4月に職務に応じた給与体系を導入しましたし、今年2019年4月からボランティア休暇、あるいはリニューアル部門でのフレックスタイム制を導入いたしました。週休2日に向けた取組みも着実に進んでおるといふことであります。

その下のコーポレート・ガバナンスにつきましては、社外取締役を今回2名から3名に増やす予定でございます。来月の株主総会でご承認をいただければ、記載をしていますが、取締役の3分の1以上、それから指名・報酬委員会の過半数が社外取締役となるということでございます。

IRにつきましてはまだ十分とはいへませんので、今後さらに強化していきたいと考えております。

## 資金投入計画について

### ◆技術研究所 増築、改修（2019年3月末オープン）

特 徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リニューアル分野では関西圏でトップクラスの設備</li> <li>・関西圏の大学および公的試験所との連携</li> </ul>
改 修 関 連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修・会議エリアを設置し、若手社員や協力会社の技術者の研修、体験型教育の実施</li> <li>・試験機器の更新</li> </ul>
増 築 関 連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震モニタリングシステムの設置</li> <li>・多目的実験スペースの設置</li> </ul>
◆ICT・基幹システム関連	
I C T 関 連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BIM・CIM運用拡大</li> <li>・グリーンサイト、建物カルテシステムの導入</li> <li>・建設キャリアアップシステムの運用開始に伴うシステム対応</li> <li>・タブレット運用拡大</li> <li>・設計施工案件の提案、作業所の積算等への活用</li> </ul>
基幹システム 関 連	人事・給与・経理・営業システムの再構築



増築棟と自然光照明を用いた多目的実験スペース



制震ダンパー

15

中期3カ年計画では資金投入の計画も掲げております。それについて申し上げたいと思います。

資金投入の使途としては、上のほうにあります技術研究所の増築、改修がございますが、今年の3月に増築、改修が終了いたしました。新しくなった技術研究所で、リニューアル関連技術の開発をさらに進めていきたいと思っております。

下のほうにあります ICT・基幹システムにつきましては、先ほど申し上げた BIM・CIM の導入のほか、作業所書類管理の効率化のためのグリーンサイト、元施工物件のデータを蓄積し、施工後の営業に役立てる建物管理システム、現場で働く技能者のキャリアを見える化する、建設キャリアアップシステム、あるいは管理部門のさらなる効率化のための基幹システムの再構築を進めておるところであります。

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 資金投入計画について

### ◆海外事業強化

名 称	SINGAPORE PAINTS & CONTRACTOR PTE. LTD.
所 在 地	シンガポール
事 業 内 容	建物塗装・修繕工事請負業
議 決 権 所 有 割 合	2018年10月 80% 株式取得 2023年10月 20% 株式取得
買 収 理 由	アセアン地域でのリニューアル事業展開

### ◆協力会社との連携強化を目的とした支払いの現金化

現 金 比 率 向 上	2018年8月支払い分より手形発行金額の下限を5,000万円以上に変更し、現金支払い比率を拡大。
-------------	--

16

資金使途の中には海外業務を強化するというのも謳っております。上のほうにございますように海外事業の強化の一環として、ASEANでのリニューアル事業を展開する目的で、2018年10月にシンガポールの外壁塗装会社を子会社化したということであります。

それから下のほうにありますように、協力会社さんとの連携を一層強化するために、2018年8月に協力会社様向けの支払いの現金化比率を、60%から90%に引き上げをいたしました。

中期3カ年計画では以上のような資金使途に3カ年で200億円投入するとして、その3カ年で営業利益を23億円増やすことにしておりますが、今申し上げたような資金使途で、2019年3月期には120億円の資金投入をいたしました。

## 自己株式の取得及び消却を行う理由

株主還元の充実および経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行する為。  
取得資金については、政策保有株式の一部を売却した売却資金を充当。

## 取得について

取得に係る事項の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>取得し得る株式の総数 330,000株（上限）</li> <li>株式の取得価額の総額 1,000,000,000円（上限）</li> </ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>取得株式数 313,600株取得</li> <li>取得費用 999,933,700円</li> <li>取得期間 2018年11月12日より2019年1月16日</li> </ul>

## 消却について

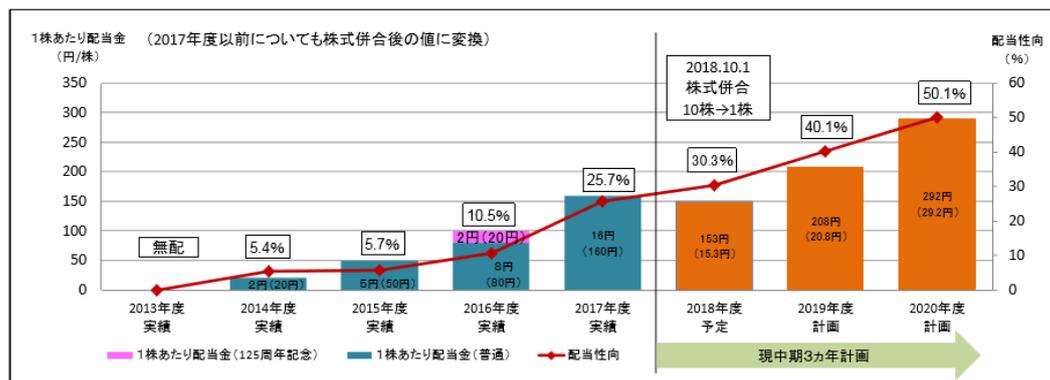
消却について	<ul style="list-style-type: none"> <li>消却株数 430,000株 (消却前の発行済株式総数に対する割合 5.05%)</li> <li>消却予定日 2019年5月31日（予定）</li> <li>発行済株式総数 消却前 8,508,629株 消却後 8,078,629株</li> </ul>
--------	--

株主還元についてご説明したいと思います。株主還元の一環として表の上のほうにありますように、2018年11月から2019年1月に所有株式の売却によりまして、自己株式を31万3,000株、10億円取得いたしました。

そして下のほうにございますが、自己株式44万6,000株のうち43万株を今月末に消却することといたしました。

中期3カ年計画の最終年度の計画値としていた【連結配当性向30%以上】を初年度に前倒し、更に最終年度には50%以上を目指す計画に修正。

修正前	中期3カ年計画の最終年度である2020年度には、連結配当性向は原則として30%以上を目指す。		
修正後	連結配当性向は原則として以下を目指す。		
	2018年度計画	2019年度計画	2020年度計画
	30%以上	40%以上	50%以上



18

引き続き配当還元についてでございます。中期3カ年計画の配当性向の見直しをいたしました。見直しについては表のとおりでございますが、株主価値の中長期的向上を目指している当社といたしましては、この3月末のPBRは0.5倍程度でございましたが、そうした株価に対しては忸怩たる思いもございまして、

財務体質の改善に一定の目処が立ったということから、表にありますように配当性向を2019年3月期30%、2020年3月期40%以上、2021年3月期50%以上ということで見直しをいたしました。

引き続き、社長より社会貢献活動についてご説明をさせていただきます。

## 浅沼組 社会貢献基本方針

私たちは、社会の一員として社会のあるべきかたちの実現のため、社員一人一人が社会的責任を自覚し、積極的に社会貢献活動を推進していきます。

### 2019年3月期からの新たな取り組みについて

日身体障害者野球連盟に協賛	日本ブラインドテニス連盟に協賛	ならどっとFM 番組「岡本彰夫の奈良 奥の奥」に協賛
<p>世界大会 2018年9月に神戸で開催 表彰式の様子</p>  	<p>全国大会 2018年9月に広島で開催</p>  	

**浅沼：**当社浅沼組は社会貢献基本方針の下、様々な分野において社会貢献活動を推進しております。2019年3月期からの新たな取り組みをここでご紹介させていただきます。

障害者スポーツ団体への協賛としまして、日身体障害者野球連盟と日本ブラインドテニス連盟を協賛することになりました。身体障害者野球においては、昨年の2018年9月には4年に1度の世界大会が行われ、日本チームが優勝し、掲載は表彰式の様子です。また明日、18日から2日間、神戸にて全国大会が行われる予定となっております。

ブラインドテニス、こちらにつきましては日本発祥のスポーツで、現在世界30カ国で行われており、2017年には世界大会も行われました。競技は室内で行い、鈴の入ったボールをラケットで打つもので、視力のレベルに応じてランク分けを行い、試合を行うものです。掲載は2018年9月に広島で行われました全国大会の様子となります。

次に、ならどっとFM。こちらは奈良市の小さな地域限定のFM局です。FM局は災害時における地域コミュニティの構築という重要な役割を担っております。その中で元春日大社の権宮司である岡本彰夫先生がメインパーソナリティーを務める、「岡本彰夫の奈良 奥の奥」という番組の提供を行うことといたしました。奈良の歴史、文化の発信の一助、地域防災活動の手助けになればと考えております。またこの番組は、今年の4月26日に開催されましたJCBA近畿コミュニティ放送賞にて、情報教養部門の優秀賞を受賞されております。

以上、新たな取り組みの一部を紹介させていただきましたが、今後も社会の一員として様々な活動に取り組んでまいりたいと考えております。

以上をもちまして、当社の決算説明会を終了させていただきます。ご清聴、どうもありがとうございました。

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 質疑応答

---

**司会**：ご説明、ありがとうございました。これから質疑応答に入ります。質問のある方は挙手していただければ、係の者がマイクをお持ちします。

なお、この説明会は質疑応答部分も含めまして、全文を書き起こして公開する予定です。したがって質問の際、会社名、氏名を名乗られた場合はそのまま公開されます。匿名を希望される場合は質問する際、氏名を名乗らないようにしてください。

それでは質問のある方、挙手を願います。いらっしゃいませんか。ご質問ある方、いらっしゃいませんか。

会社のほうで追加する事項等、ございますでしょうか。

**話者**：ございません。

**司会**：それでは質問もないようなので、説明会はこれにて終了とさせていただきます。本日はお疲れ様でございました。ありがとうございました。

[了]

---

### 脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載

---

### サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用をしてはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

---

## サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com